

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念 ①心寄り添う暮らしを目指します②心穏やかに生活できる環境を創造します③心安らぐ信頼のホームを実現します...介護する側ではなく、常に利用者本意のケアを心がける事を事業所理念の柱に置いた。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	施設理念は、全職員のスローガンという意識の下、管理者と職員は定期的に理念を確認しあい、日々のケアに取り入れる努力をしている。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	施設理念は、各ユニットごとの玄関口に掲示し、また地域住民や家族宛てに配布するパンフレットや施設案内書には、理念の掲載をするなど、広く告知するよう心掛けている。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣接する高齢者住宅の住民の方々等を、施設行事にご招待したり、屋外での散歩時などに声を掛けるなど日々、交流を図っている。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	もともと母体法人の代表者や施設長は、この地の出身者である事から、地域との交流や関わりは開設時より深くなっており、積極的に地域の催しや行事に参加したり、また地域のボランティアの受け入れも行っている。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	隣接する高齢者住宅の住民に対し、適宜相談業務や援助を行なっている。	
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	これまでの外部評価で示された事項については、速やかに改善を行っている。	
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	毎回、市町村職員や地域の民生委員や代表者、家族代表者や利用者の参加の下、年6回の開催を実施している。	
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	必要時には、市職員に相談し指導を受ける事で、日々サービスの向上に取り組んでいる。	
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	近い親類がおられない利用者や将来的に活用が望ましいと考えられる利用者に関しては、担当の介護支援専門員や管理者から、利用者や現在の身元引受人の方等に説明や支援を行う準備がある。	
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	虐待防止のについての知識を職員全員が周知できるよう、勉強会を開催したり会議の中で取り上げたりしている。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	各ユニットに配置している介護支援専門員が中心となり、適宜説明や聞き取りを行っている。	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	管理者自らが苦情窓口となり、施設の玄関内に意見箱、アンケート用紙（無記名可）を設置。また、予めアンケート用紙を家族宛てに郵送し、来訪時に投函したり、遠方親類の方からは返送して頂けるようにしている。	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	毎月、郵送にて送付する請求書に、各利用者のご様子をお知らせする便りを現場の介護職員が作成し、同封している。本年度より施設行事の案内やお知らせを記載したせせらぎ便りというミニ新聞の発行も実施している。また家族の来訪時には金銭出納簿を閲覧して頂き、説明後捺印を頂いている。	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	家族来訪時には、主として管理者や担当の介護支援専門員が出迎えたり声を掛けるなどし、いつでも相談できる雰囲気作りに努めている。また要望や不満があった際は、内容を会議や申し送り時に取り上げ、速やかに対応できるようにしている。	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	会議や申し送り時に意見を聞く機会を設けたり、職員へ無記名でのアンケートや要望書を配布するなどの手段にて広く意見を募り、運営に反映している。	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	利用者の状況の変化等現れた際は、その都度会議を開催し、対応策を協議した上で、必要に応じて変則的な勤務体制も組めるよう努めている。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職や異動時には、利用者やその家族への対応を事前に協議した上で実施している。		
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的に施設内外への研修への参加の推進、また参考資料や文献などの購入等、行っている。		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他市町村の同業事業所と互いに連携をとり、交流を図ったり、相互のサービスの質の向上に向け取り組みを実施している。		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	各職員の性格や得意分野を踏まえた上で、できる限りそれらを活かせる職務や担当への配置を心がけている。		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各職員のスキルや貢献度等により、各手当を設けるなどに努めている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	何度も面談を行う中で、その利用者の想い、希望や不安を知るように努めている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	同上を踏まえた上で、家族と利用者の関係、家族側の希望も把握するように努めている。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要時には、他介護サービスの情報の提供、援助、支援を行っている。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者や家族が不安なく入居日を迎える事ができるよう、それまでに施設行事や活動への参加や見学を行っている。	これまでも、敬老祭やミニレクリエーション活動に参加して頂いたりしながら、施設内の雰囲気を感じて頂いたり、入居日に顔馴染みの職員が出来ているように努めてきた為、混乱等なく入居して頂いている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	各利用者が、これまでの人生の中で知り得た知識や技術を探り、それらを施設生活の中で少しでも生かしながら生き活きと生活して頂けるよう努めている。	職員が、利用者から炊事や掃除の仕方、編み物や裁縫等の技術、園芸等を学びながらそれらを行なっている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>		
29	<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>		
30	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>		
31	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>		
32	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の暮らしの中で各入居者の話しを傾聴し各入居者のニーズを探ると共に、知り得た情報をケースに記入することにより、全職員がそれらの情報を周知出来る様に努めている。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人のみならず家族や関係各所（受診している医療機関、利用されている介護保険サービス提供事業所など）からの情報提供を基にアセスメントシートを記入し、入居後のサービス提供に活かしている。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	センター方式の使用だけでなく、日々の生活（家事援助・レクリエーションなど）の中で刻々と変化する入居者の状態を記録している。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	定期的なモニタリング以外にも、各入居者の状態の変化に応じて他職種（施設長・管理者・計画作成担当者・介護職員）共同でカンファレンスを開催し、入居者の現状に沿った介護計画を立案・実践している。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	上項記載事項以外にも、職員会議、リスクマネジメント委員会、排泄担当者会議等において各入居者の現状に即した介護計画の協議を行なっている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録の積み重ねによって作成される介護計画以外にも、日々の暮らしの中で知り得た情報を基に個人のニーズを色濃く反映した1ヶ月を単位として提供している個別ケアを実践している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご家族を施設行事へ招待したり、毎月施設の機関紙を家族に送付している。外出・外泊時の連絡調整（服薬準備等）を行なっている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の民生委員、消防などと連携を図る共に、ボランティアによる様々な訪問活動を積極的に受け入れている。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他施設への転居など必要に応じて関係各所との連絡調整を行い、入居者や家族がスムーズに必要なサービスが受けられるように支援している。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	本人や家族の意向により地域包括支援センターによるサービスの提供ニーズが発生した場合は、必要に応じて連絡調整や情報提供などの協働に応じていくことにする。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		<p>①入居者個々のケースに応じて、本人や家族の意志を確認する。②職員間での協議、医療機関との連携を図り、状況に即した柔軟な業務体制を実践する。上記①及び②により、可能な限り施設での生活が継続出来るように対応している。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	入居者本人やご家族に対しては転居先施設の情報を提供すると共に、施設側から受け入れ側施設の担当者へは事前に情報の提供を行い、転居後も入居者が不利益を被らないように配慮している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録物の管理は、すべて施錠されたロッカー内で管理しており、言葉遣いや援助についても、常に利用者の誇りや尊厳に配慮したものであるよう心掛けている。		定期的なカンファレンスや会議、毎日の申し送り時において、管理者や常勤・非常勤職員全員は利用者への関わり方について随時チェックしあったり、適切な対応策を講じている。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	常日頃の業務の中で利用者に関わる中において、職員は利用者個々の思いや希望等、思いの把握に努めており、またそれぞれが知り得た情報については記録や申し送り等を通じて、他職員も共有できるようにしている。		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	施設行事等、予め事前に日程が決まっておく必要がある事柄や、朝・昼・夕の食事時間以外は、介護側優先の時間を区切った過ごし方はせず、一人ひとりの体調や希望に合わせて過ごして頂き、可能な限り個別性のある支援を行なっている。		買い物や外出など、その時々々の思いや希望に柔軟に対応できる個別ケアを日々提供している。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	それぞれに行き着けの理美容店があれば、可能な限り家族の協力も仰ぎながら対応している。また、日々の生活の中においても、お化粧品やマニキュア等も楽しんで頂けるよう支援している。		現在、希望の理髪店の申し出がないため、月1回訪問理美容業者が来訪し、希望者の理髪やカラー、パーマ等を行なっている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		排泄委員会を中心とした会議を月1回～必要時、開催し利用者の排泄面の自立や向上を目指して取り組んでいる。
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	いつでも希望時に入浴して頂けるよう対応している。	せせらぎ温泉は好評につき、現在も継続中。
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	極力、睡眠導入剤や安定剤等を服用せずに入眠してもらえよう個々の利用者にあった対応法を検討し支援している。	使い慣れた寝具や調度品の使用、照明や音の調整、寝る前にホットミルク等の飲用を促したり、希望時の偽薬の投与等、個々に適した対応策を実施している。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	個々の好みやできる力を最大限活かして生活できるよう、役割や楽しみごとを作り出す努力をしている。	食事や裁縫、編み物や日曜大工など、個々の得意分野への参加のお願いをしたり、過去に介護に携わっていた利用者とは共にシーツ交換を行ったりしている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族より預かった金銭については、管理者が個々に管理しており、出来る限り利用者の希望や力に応じて遣ってもらえるよう支援している。また、明細については、毎月利用者とその家族に内容の説明をした上で、領収書を添えて明細書としてお渡ししている。</p>		<p>金銭の自己管理が可能な利用者については、ご家族に了承頂ける金銭を自己管理して頂いており、希望時に買い物へ行って頂いている。(自己管理利用者：1階⇒9名中3名 2階⇒9名中3名)</p>
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>個々の利用者の体調に留意しながら、個別や複数での外出の機会を頻繁に設けている。</p>		
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>お墓参りや知人・親類宅への訪問、好みの店や飲食店への外出等、可能な限り個々の希望に応じて臨機応変に対応している。</p>		
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>家族や知人への電話の取次ぎや手紙の郵送等、利用者が孤立感を抱く事のないよう積極的に支援している。</p>		
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>面会者の来訪時には、個々の居室でゆっくり過ごして頂けるよう声かけや支援をしている。</p>		<p>利用者や面会者に、自由に湯茶などを飲んで頂けるようリビングの目のつきやすい場所にセッティングをしている。</p>
(4) 安心と安全を支える支援				
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>いかなる場合においても身体拘束を行なわない方針で対応している。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	出て行く気配を職員が見落とさないよう見守りや職員間の連携の徹底を心がける事により、日中は施錠せずに自由な暮らしを提供出来ている。		利用者が外出しそうな様子を察知したら、制止するのではなく、さりげなく声をかけたり一緒についていく等、安全面に配慮しながらも利用者に開放的な暮らしを提供できるように支援している。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中はもとより夜間も定期巡視の徹底を実施している。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個々の能力に応じて、管理できる物とできない物を見極め、管理されている物は、常に個数や管理状況をさりげなく把握している。		貴金属や金銭、化粧品や髭剃りや裁縫道具等
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	リスクマネジメント委員会を中心に、リスクが発生してからはもとより、今後リスクとなりうる事案の検証と予防にも取り組んでいる。		
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的に施設内での勉強会を実施している。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を年2回実施しており、その際は近隣の高齢者にも参加を呼びかけている。		前年度、年2回の実施ができていなかったが、本年度はすでに2回実施済み。今後は、開催月を固定するなどして、地域住民にも参加しやすい状況を設定するなどして、地域ぐるみで開催できるように取り組んでいきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>	<p>利用者の状況の変化に応じて、リスクマネジメント委員会を中心に、考えうるリスクや対応策を検討し、その内容を利用者や家族に説明し、了承を得ている。</p>	
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>毎日のバイタルサインのチェックや歩行状況や顔色、皮膚の状況等を観察し、変化の有無を日々の記録に記載するように努めている。</p>	
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬の内容や副作用や効能について、職員全員がいつでも確認し、理解できるようファイリングしている。</p>	
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>水分補給と運動量の確保、食物繊維の摂取の支援を行なっている。</p>	
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>毎食後の口腔ケアの徹底。又、週に1度は歯科衛生士による口腔指導も受けている。</p>	<p>専用の口腔ケアワゴンを各階に設置し、利用者別に口腔セットを準備している。(義歯ケース・ガーグルベース・スポンジブラシ・歯間ブラシ・口腔洗浄含嗽剤・人口唾液等々)</p>
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>個々の嗜好を把握し、栄養バランスに配慮しながら飲料物や食物、おやつ類を提供。毎日の食事量・水分摂取量を個別に記録し、職員全員が摂取量を共有している。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	施設内外の感染研修に参加。それらに基づいた当該施設での対応方法を作成し、準備している。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材の配達は、当日使用する分だけが、毎日配達されるよう調整している。また、調理器具類については、アルコールスプレーやキッチンハイターでの消毒を毎日実施している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	施設周辺は、常に開放的な雰囲気作り、近隣住民の方々や家族が出入りしやすい環境を心がけている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	音や光、匂いの調節。また、リビングや居室は常に清潔感と季節感が味わえるよう工夫している。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや椅子の配置を換えるなどして工夫している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	入居時には、できる限り使い慣れた家具や寝具類 を持ち込んで頂けるようお願いしている。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	1日2回以上の換気の徹底。また、室温調節にも 配慮している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	個々の状況に応じた環境作りを心がけている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	一人ひとりの能力を見極めながら、出来る限り自 立した生活が送れるよう支援する事を心がけてい る。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	施設の周囲や玄関先には利用者自ら育てている植 木や花を設置しており、菜園ではトマトや野菜を 育てている。日々の水やりや、野菜の収穫を利用 者と共に行なっている。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

前年度より取り組み始めた【個別ケア】は現在も継続して実施しており、これまでに多数の成果をあげています。今年度からの取り組みとして、【リスクマネジメント委員会】を設置し、活動を始めました。ここでの主とした活動としては、事故報告書やひやり・はっと報告書の集計や対応策の検討はもちろんですが、予測されるリスクへの事前の対応や、個々の利用者や家族の希望や思いに、どのように対応すれば応じる事が出来るかを、リスクマネジメント委員（施設長・管理者・各階計画作成担当者・各階介護職員などで構成）を中心に随時検討し、実践・評価しています。今後、活動が定着してきましたら、施設長や管理者は委員をはずれ、現場職員主導で活動していきたいと思えます。